

議会運営委員会 10/28 ~ 29

兵庫県高砂市に学ぶ！

「議選監査委員廃止の経緯」

平成 30 年 3 月 28 日に「議会及び行財政改革等対策検討特別委員会」を設置し、平成 30 年 6 月に特別委員会協議の上で本会議へ報告を行い、6 月 18 日、市議会本会議で監査委員条例改正案を可決、議選監査委員を廃止した。

高砂市は、決算委員会で 12 日間にわたりチェック・議論をするなど、監視機能の充実強化を図ってきた実績の上で議選監査委員の廃止に至っており、三島市ではまず当面の課題として、チェック体制の充実強化への早期取り組みが必要だと感じた。



京都府亀岡市に学ぶ！

「議会改革、議会活性化の取り組み」

亀岡市では議会改革として多様な取り組みがされているが、主に議会基本条例の見直しについて伺った。

平成 22 年の施行後、2 年ごとに検証を行っており、独自の検討シートを各会派に配付して条項ごとにどのような問題があるかを記載してもらい、それについて議会運営委員会で検討、検証している。

反問権の導入や政策研究会の追加など、数々の議会改革と議会活性化には刺激を受け、三島市議会においても同様の取り組みが求められると感じた。

経済建設委員会 10/1 ~ 2

空き家対策

—岐阜県羽島市—

平成 25 年、通学路に隣接する空き家の倒壊が発生したことを受け、市役所内の関連部局が集結してプロジェクトチームを設置した。効率的に正確な実態を把握するため、自治会への情報依頼に加えて(株)ゼンリンによる全戸調査を行った。わが家の終活セミナーの開催やエンディングノートを独自に作成して活用するなど、複数の取り組みは本市においても参考にしたい。



大垣駅南街区第一種市街地再開発事業

—岐阜県大垣市—

再開発はにぎわいの創出、まちなか居住の推進、空き店舗の減少を目標として推進され、駐輪場や駅前公園の整備、子育て施設の導入などを行っている。特に公共施設である「キッズピアおおがき」は駅前に隣接しており、市民だけでなく市外からの利用者も多くにぎわいを見せていた。

市民ニーズを的確にとらえている点は大いに三島駅南口再開発にも参考となるものであると感じました。



日本遺産を活用した観光振興

—岐阜県岐阜市—

「信長公のおもてなし」を掲げ、観光資源の岐阜城や長良川などを中心に日本遺産事業に取り組んでいる。年度ごとにたてる目標には、確実にステップアップしていく計画性の高さがあった。まちなか案内人など多彩な事業展開を進めており、何度も訪れてみたいと思わせる工夫を重ねている点がすばらしいと感じた。



先進地に学ぶ

より良い三島市を目指して、先進的な取り組みを行っている他自治体へ視察研修を行いました。詳細は市議会ホームページをご覧ください。



福祉教育委員会 7/8 ~ 10

認定こども園の取り組み

—奈良県生駒市—

待機児童の解消に向けた保育所の整備や、私立保育園で保育ニーズに応じたサービスが提供されるよう事業者へ働きかけるなど、さまざまな支援を行っている。認定こども園の整備については、預かり保育の時間延長や、クックチル方式による給食を実施している。



三島市においても、保育需要の増加と幼稚園需要の低下は現実化している。スクールバスや給食、保育士の確保など、多くの課題に取り組む生駒市の姿勢を学ぶことができ、大いに参考になりました。

郷土学習の取り組み

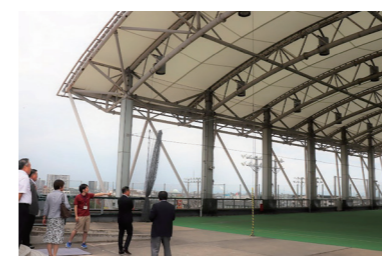
—奈良県高市郡明日香村—

日本で唯一村全体が保存地区であり、明日香法によって伝統文化を守りながら村の発展を目指している。幼小中一貫した郷土学習プログラムにより、明日香を語る人材育成を掲げて取り組んでおり、年間計画や副読本のほか、地域の協力も大事な要素となっている。地域に根差した教育を行っていることは大変参考になった。

総合型地域スポーツクラブ

—愛知県半田市—

平成 6 年に文部省のモデル事業として成岩スポーツクラブを設立させ、平成 15 年には市内 5 つの全ての中学校区に存在するようになった。学校に隣接する施設は地域・学校・行政が連携して



運営しており、部活動の受け皿としてだけでなく地域のコミュニティの拠点にもなっている。

総務委員会 7/29 ~ 31

新庁舎建設

—広島県三原市—

業務で使用する会議室を、セキュリティ区画の設定により市民が休日や夜間に利用できるようにするなど、コンパクトで機能的な庁舎である。延べ面積のコントロールを重視し、ランニングコストを抑える工夫を実施していた。

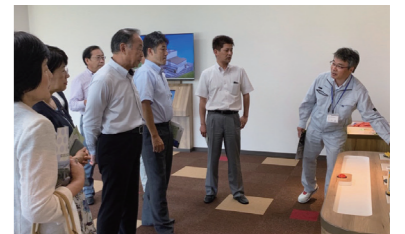
質の高い市民サービスを提供できる庁舎だと感じました。特にエレベーターの配置やすべての階に設置された多機能トイレなど、誰でも安心して利用できるユニバーサルデザインはとても参考になりました。



ごみ処理施設

—京都府木津川市—

施設の老朽化や人口増加によるごみ量の増加に伴い、平成 27 年に設計・工事に着手し、平成 30 年 8 月に竣工した。全連続燃焼ストーカ方式であり、燃焼炉から発生する排ガスの熱を利用して水を蒸気に変え発電している。施設内の電力はもちろん、余剰電力は売電をし、年間 4,000 万円の財政効果とは大変興味深い。



PFI 事業の見直し

—愛知県西尾市—

公共施設の再配置に向けた PFI 事業は、整備内容や発注などを含め長期間にわたり民間に一括して委ねていたため、市の内部でもごく一部の職員しか把握しておらず、市民や議会への説明不足や、資料・契約書の不開示など問題点が多かった。平成 29 年に新市長が就任し、検証と見直しを実施している。

「あいうえあそぼうとしょかんで」

令和元年度みしま市議会だより表紙のテーマは、「三島市ゆかりの絵本作家」です。

第 3 回目の今号は、スギヤマカナヨさんのイラストが表紙を飾っています。

スギヤマさんは本の出版だけでなく、各地で講演やワークショップを行うなど幅広くご活躍で、三島市内でも図書館や小学校、家庭文庫などでワークショップを行い、子どもたちに絵本の楽しさを伝えてくださっています。この機会に、皆さんもぜひ絵本の世界にふれてみませんか。市議会だよりも、より幅広い世代の方に親しまれるよう努力してまいります。



【スギヤマカナヨさん】

三島市生まれ。東京学芸大学初等科美術卒業。1993 年に渡米しエッチングを学ぶ。『ペンギンの本』（講談社）で講談社出版文化賞受賞。主な作品に「K・スギヤマ博士の動物図鑑」（絵本館）、「ほんちゃん」（偕成社）、「ぼくのまちをつくらう！」（理論社）、「あかちゃんが生きたらなるなるなんになる？」（ポプラ社）、「あいうえあそぼうとしょかんで」（子どもの未来社）などがある。

議会だより編集委員一同